

2019年度より、立命館大学は、北海道大学、東北大学、名古屋大学の3大学が共同で取り組む「イノベーション創出人材連携育成プログラム」に参加することになりました。

このプログラムは、企業を知るためのセミナーや企業等との密接なマッチングシステム、データベース等、海外を含むアカデミア以外の民間企業や研究機関において、博士人材が活躍できる場を見出すことを目的としています。

そこで、当該プログラムで実施する『赤い糸会&緑の会』の運営に長年携わってこられた、元北海道大学 特任教授/理学博士 樋口直樹教授をお招きして、博士人材キャリアパスに関する懇談会を 2019年4月12日(金) に立命館大学びわこ・くさつキャンパス内にて行いました。

樋口教授に、博士が置かれている現状、今なぜ博士人材を企業が求めているか等、わかりやすく説明いただき、懇談会に参加した受講生も、将来の博士像を明確にイメージすることができ、今後の活動の意欲が高まった会となりました。



<赤い糸会&緑の会とは>

「赤い糸会&緑の会」では、博士研究者と企業が直接交流し、研究内容やキャリアについて意見交換するなど、お互いの思いを直接ぶつけあいます。企業からは新規テーマや必要とするスキルや博士人材像のプレゼン、博士研究者は専門性やスキル、人物像までを含めたポスター発表でアピールします。

企業と直接交流することにより、今、企業が何を求めているのか、またそれに対して、自身の研究をどのように展開することができるかなど、自身の研究やキャリアについて考える機会になります。また、他大学の大学院生との交流を通して、研究や考え方を知る機会にもなります。

